

サークル活動完了報告書

サークル名	患者サービス向上班		発表者	中村 真	
			リーダー	中村 真	
部署	放射線科		サブリーダー	谷川 淳	
活動期間	開始：平成 23 年 5 月日 終了：平成 23 年 12 月日		メンバー	三上 孔仁夫 上野 幹夫 林 哲則 宮野音 努 中村 真 赤木 幹男 大長 弘幸 井上 大介 谷川 淳 平田 彰 前崎 賢治 原田 典明 黒田 香織	
会合状況	会合回数 _____ 回 1回あたりの会合時間 _____ 分				
所属長/推進メンバー	三上 孔仁夫	所見欄			
レビュー担当者					

テーマ

マンモグラフィ受診者の満足度向上

テーマ選定理由

- ・診断価値の高い画像を得るためには、受診者の方がリラックスできる環境づくりが必要
緊張した状態では、撮影時の体位変換が難しい。腋下・胸壁深くまでフィルムに描出できない
- ・気持ちよく検査を受けていただければ、今後の受診率の向上にも貢献できる

現状把握

アンケート調査を実施しました。

対象者

人間ドック乳がん検診にて、マンモグラフィを撮影した121名

方法

撮影終了後、選択・記載方式の無記名で実施

期間

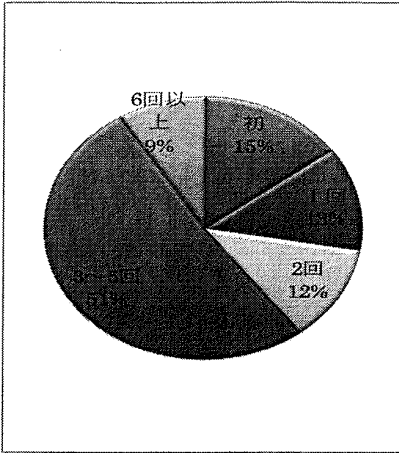
平成23年9月1日～10月28日

アンケートの質問項目

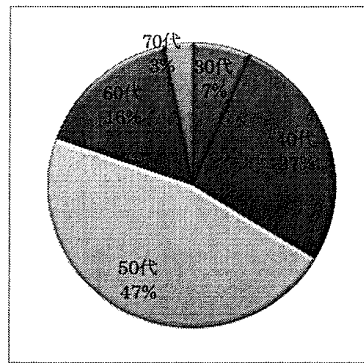
- 1、対象者の年齢
- 2、今までのマンモグラフィ撮影回数
- 3、痛みの程度について
- 4、今後もマンモグラフィ検診を受けたいと思いますか
- 5、マンモグラフィ撮影後の感想・意見（自由記載）

対象者：121名の内訳

撮影回数別

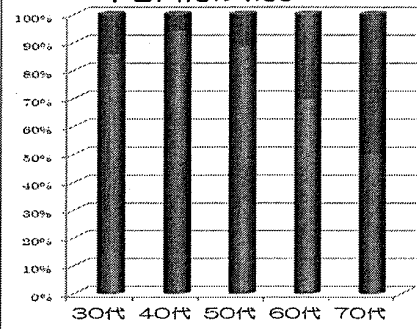


年齢構成別

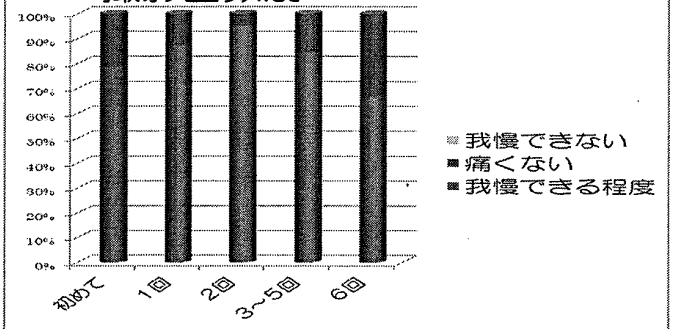


痛みについて

年齢構成別



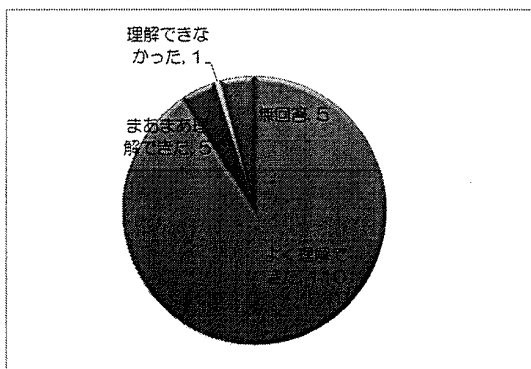
撮影回数別



検査前の説明

現在行っている検査の事前説明の内容は
検査の方法・検査の有効性・放射線ひばく・圧迫の必要性の4項目

① この内容が理解できたか？

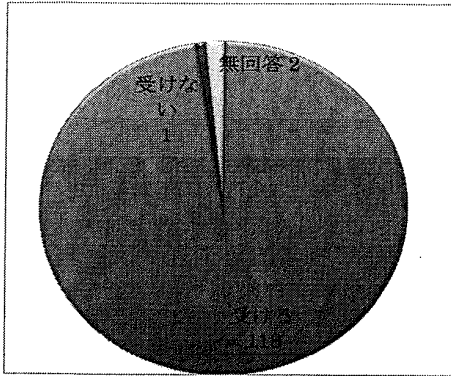


ほとんどの方が理解していただけた。

② 理解できなかった・もっと知りたい内容は、

- 検査の方法 1
- 検査の有効性 1
- 放射線ひばく 1
- 圧迫の必要性 1

次回もマンモグラフィの検査を受けますか？



次回は受けないと答えられた方が 1名

受けない理由は記載がありませんでした。

検査後のご意見・ご感想（フリーコメント）

非常に気を使っていただいたので、ありがたかった
痛みもほとんどなく、簡単な検査なので定期的に受けたいと思った
接遇もソフトでリラックスして、検査を受けることができました
検診を受けることで、安心が得られることがわかった
痛みがひどくならないように、気を使ってもらい痛みも心も楽でした
落ち着いたスタッフの対応で、痛みもありませんでした
慣れたのか、前回受けた時より痛くなかった
不安があったが、説明を聞いて安心して受けることができました
検査中も、リラックスできるよう話しかけてくれたので安心できた
女性の方が同室していたので、安心して受けることができました
検査で乳がんが早期発見できるなら、次回も受けたい
我慢できる痛さで検査できると、自分の周りにも言いたい
会社の乳がん検診が二年に一度なので、毎年受けたい
子供がいるので、短時間で終わる検診のシステムにしてほしい
よい医療機器が導入され、がんの早期発見ができてよいと思った
二年に一度の健診でよいのか、知りたい
最初に検査の概要を説明してもらったのでよかった
女性の技師だったので、安心した

アンケートの結果

アンケート結果については、リラックスして検査が受けれたなど、検査環境についてよい評価を受けた。
検査時の痛みについては、ほとんどの方が痛くない・我慢できる程度と答えられた。
次回も検査を受けるかの問いについても、ほとんどの方が受けると答えられた。

説明が分かりにくい・もっと知りたいと答えられた方もおられた。⇒ (1)

次回からは受けない。(理由については記載なし) ⇒ (1)

検査は女性技師に担当してほしい。⇒ (17)

要因解析

1：検査は女性技師に担当してほしい。

当院には女性技師は1名であり、当直業務や日常の人員配置などから女性技師が常時担当はできない。

2：説明が分かりにくい・もっと知りたいと答えられた方もおられた。

検診では、他の検査や診察時間もあるため、時間の制約がある。

3：現在説明をしている項目以外に、受診者の方が疑問に思われていることがわかった。

検診の受診期間・検査時の痛みの程度について、関心がある。

目標設定

今回わかりにくいと回答があった点や、多くの方が疑問に思われていることを、理解していただくようにする。

標準化

痛みについては関心も高く、限られた時間ではあるが丁寧な説明が必要。
検査時の説明は、時間も限られているので掲示板やパンフレットを使い、待ち時間も有効に使う。

今回の活動をおこなうことによって、事前説明の大切さを理解できた。
マンモグラフィの掲示板等、情報発信を定期的に行いたい。

まとめ

マンモグラフィ撮影環境は、おおむね良い評価であった。
安心して受けていただけることが、次回の検診につながる。
今後も受診者の方の声を積極的に反映させ、よりよい環境づくりに努めていきたい。